校長室だより

「ハッピー通信」20号

令和4年9月14日

世界のウチナーンチュ大会と平良新助

「第7回世界のウチナーンチュ大会」の開催をきっかけに、今帰仁村の偉人で「ひやみかち節」の作詞をした平良新助さんについて学びました。

4・5・6年生は、仲地暁先生を講師に、移民の歴史や平良新助さんの活躍について、講話をとおして学習しました。

後日、5年生は平良新助さんの銅像を見学に行きました。銅像の建立に尽力した本校29代校長の大城茂樹さんから「今帰仁の先輩方が世界で活躍した」「みなさんも今帰仁に生まれたことに誇りを持ち、世界に羽ばたいてほしい」と、メッセージをいただきました。

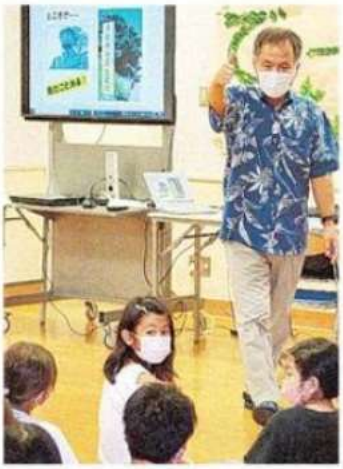
大城茂樹先生

直樹先生が「ひやみかち節」を演奏しました。

9/10沖縄タイムス

移民の道開いた 平良新助を紹介

兼次小で仲地さん講演



【今帰仁】今帰仁村の兼次小学校4年生から6年生は1日、県学校運営アドバイザーの仲地暁さん＝写真右奥＝を講師に、世界のウチナーンチュ大会に向けた出前授業を受けた。仲地さんは、移民の父として知られる當山久三を助けて移民の道を切り開いた同村の偉人、平良新助を紹介した。世界中で生きるウチナーンチュは「なんくるないさー」「いちゃりばちょーでー」「ゆいまーる」の三つの生き方があったと説明した。

6年の仲宗根キアナさんは「沖縄のことをもっと知りたいと思いました」。ジョーンズ仁奈さんは「ウチナーンチュ大会に行ってみたい」と感想を語った。（赤嶺幸代通信員）